

$$\text{接近係数} = \sum \{m \cdot F(s)\}$$

m : 対象施設によってもたらされる受益又は受損の価値の大きさを表わす指数で、表-3で与えられる。

F(s) : m値を対象施設からの距離sに応じて逓減する係数で次式により表わす。

$$F(s) = \left(\frac{S-s}{S-R} \right)^n \quad (s \geq R)$$

$$F(s) = 1 \quad (s < R)$$

S : 影響距離限度 (m) で、表-3で与えられる。

R : 定位距離 (m値が逓減せず、等レベルに保たれる距離限度) (m) で、表-3で与えられる。

n : 影響力の逓減特性で、表-3で与えられる。

s : 宅地と対象施設の距離 (m)

表-3

・S・R・m・n値

対象施設	S	R	m	n
阪急電鉄 淡路駅	800	50	0.4~1.0	2.0
小学校	500	50	0.1	2.0
区役所出張所	500	50	0.1	2.0
公園	300	50	0.1	2.0
商業中心	500	50	0.4~1.0	2.0
鉄道騒音	—	—	-0.1	1.0

※鉄道騒音の影響は鉄道に接している路線とし、F(s)=1とする。